

平成21年度 事業報告書

I. 法人の概況

1. 設立年月日 昭和16年3月3日

2. 名称変更 平成14年4月1日（旧名称：財団法人日本女子社会教育会）

3. 寄附行為に定める目的

本財団は、男女共同参画社会の形成に資する女性の生涯学習及び次世代育成の振興に寄与することを目的とする。

4. 寄附行為に定める事業内容

- (1) 女性の生涯学習及び次世代育成に関する学習会・研修等の開催
- (2) 女性の生涯学習及び次世代育成に関する研究調査
- (3) 女性の生涯学習及び次世代育成に関する出版物の刊行等情報の提供
- (4) 女性の生涯学習及び次世代育成関係諸団体との連携
- (5) 日本女子会館の維持経営

5. 所管官庁に関する事項 文部科学省 生涯学習政策局 男女共同参画学習課

6. 主たる事務所 東京都港区芝公園2-6-8 日本女子会館

7. 役員に関する事項

(1) 平成22年3月31日現在 役員名簿（理事8名、監事2名、評議員10名）

役職	氏名	常勤・非常勤の別	担当職務・現職
理事長	大野 曜	常勤	事業統括
常務理事	橋本 徹行	常勤	事務総括（事務局長）
理事	今井 通子	非常勤	医学博士、登山家、(株)ル・ベルソー代表取締役
理事	門脇 厚司	非常勤	筑波大学名誉教授 社会総合力研究所代表
理事	亀田 温子	非常勤	十文字学園女子大学教授
理事	三輪 建二	非常勤	お茶の水女子大学 大学院教授
理事	高橋 衛	非常勤	ドイツ証券(株) 常勤監査役
理事	福沢 恵子	非常勤	ジャーナリスト、日本女子大学客員教授
監事	松田 理明	非常勤	松田公認会計士事務所・公認会計士・税理士
監事	齊藤 誠	非常勤	弁護士法人齊藤法律事務所代表者・弁護士
評議員	村松 泰子	非常勤	東京学芸大学 副学長
評議員	五十川隆夫	非常勤	中京女子大学、同短期大学部副学長・教授
評議員	蛭田 道春	非常勤	大正大学教授
評議員	清水 正江	非常勤	子育て支援グループ「ゆめこびと」代表
評議員	錦織 淑子	非常勤	(社)国際女性教育振興会副会長
評議員	石原 一子	非常勤	(株)オハル・アドバイザーズ 最高顧問
評議員	堀田 力	非常勤	(財)さわやか福祉財団理事長
評議員	足立 則夫	非常勤	日本経済新聞社特別編集委員
評議員	橋本ヒロ子	非常勤	十文字学園女子大学教授
評議員	渡邊 嘉子	非常勤	ヒューマン・コミュニケーション研究所 所長

(2) 役員の異動

なし

(ただし、平成 22 年 3 月 31 日橋本徹行が常務理事を辞任し、平成 22 年 4 月 1 日菅原政壽が常務理事に就任している。)

8. 職員に関する事項

平成 22 年 3 月 31 日現在

職員数		前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
男性	2 名(1)		53 歳 10 ヶ月	6 年 2 ヶ月
女性	5 名(2)		51 歳 5 ヶ月	6 年 10 ヶ月
合計又は平均	7 名(3)		52 歳 1 ヶ月	6 年 8 ヶ月

注：()内は、嘱託及び非常勤で内数。

II. 事業の状況

1. 事業の実施状況

(1) 学習会・研修等の開催

ア. 男女共同参画推進のための実践力養成セミナー

男女共同参画推進を担う地域活動者や学習支援者の実践力を高めるための視点および具体的な方法・スキル等を、対象別プログラムで体験的に培う研修機会を提供した。

21 年度は NPO 関係者の力量形成をテーマに設定した。

テーマ：NPO をパワーアップする“提案力”を磨く！

開催日：7 月 24 日(土)・25 日(日)

会 場：日本女子会館 大会議室・小会議室

対 象：主に NPO で活動している人 参加者 20 人 (修了証授与 17 人)

*フォローアップの会 平成 22 年 3 月 5 日(金) 参加者 5 人

イ. コラボレーション・セミナー

財団で実績のある各種セミナーについて、地方の団体・機関等との要請・協力に基づき開催することにより、協働の時代に向けて、実践力を高めるための機会をより多くの活動者や学習支援者等に提供した。

①市民と行政、市民同士の協働力をつける一実践のふり返りを通して、活動のあり方が見えてくる

期 日：12 月 5 日(土)・6 日(日)

会 場：胆振(いぶり)地方男女平等参画センター ミンクール (室蘭市)

共催先：男女平等参画をすすめる会「えんばわーメイト」

対 象：地域活動者、行政関係者、地域活動に関心のある人など 参加者 37 人

②女子大生のためのキャリアしゃべり場

期 日：12 月 19 日(土)

会 場：埼玉県男女共同参画推進センター With You さいたま

共催先：埼玉県男女共同参画推進センター With You さいたま

対 象：女子大学生 参加者 28 人

③子育て支援者パワーアップセミナー

期 日：平成 22 年 1 月 23 日(土)

会 場：藤沢市学習文化センター

共催先：神奈川県藤沢市教育委員会生涯学習課

対 象：子育て支援活動者・活動希望者 参加者 40 人

(2) 研究調査事業

ア. 女性の教育・学習活動史研究

「女性の学習の歩み」実践・研究レポート

女性の生き方や活動をジェンダーの視点でふり返り、社会・地域・家庭の中で葛藤や障壁を乗り越えてきたプロセスを女性の教育・学習の歩みとしてまとめた実践・研究レポートを募集し、研究奨励を行った。

○レポート募集：6月1日～9月30日

○選考委員会（委員3名）：2回開催 4月10日(金) 11月10日(火)

○応募状況及び選考結果：応募作23篇、入選作1篇、佳作2篇、奨励作4篇

○受賞レポート報告会：平成22年2月19日(金) 参加者15人

イ. 70年史編纂（3ヵ年計画 2年次）

70年にわたる財団の活動を記録し、近現代の女性の教育・学習活動史との関連で位置づける。それにより財団が果たしてきた役割を客観的に明らかにし、今後に向かっての財団事業の可能性および課題を考える一助とする。また結果を広く公開することにより、女性の発展に資する。

○編纂委員会（委員3名）：3回開催 5月25日(月) 9月8日(火) 2月9日(火)

○ヒアリング調査：5回実施（財団関係者及び財団事業参加者）

4月20日(月) 7月3日(金) 9月3日(木) 11月16日(月)午前・午後

○財団史関連パネル作成 18枚

ウ. 子育て支援者の資質向上のための事例研究及びプログラム開発事業

(独)福祉医療機構助成事業（3年計画 2年次）

子どもの人間関係力を育む「子育て環境づくり」の実践的な支援のあり方が求められている。そのため「関係づくり」の視点から子育て支援の創出、及び人材養成に向けて3計画で取り組む。1年次（20年度）は全国10ヵ所でヒアリングを行い『事例集』を作成した。

21年度はその成果を基に、子育て支援者の資質向上を図る「研修プログラム」の開発を行った。

○研修プログラム開発委員会（委員5名）：開催4回

5月18日(月) 6月29日(月) 9月29日(火) 12月14日(月)

○実験プログラムの実施

Aプログラム 「関係づくり」を育む子育て支援フォーラム

内容：鼎談＋ワークショップ

会場：しものせき環境みらい館(山口県下関市)

期日：8月23日(日)

対象：子育て支援活動者・活動希望者、子育て支援関連部署の行政担当者等83名

協力：こどもなんでもネットワーク下関

Bプログラム 「関係づくり」を育む子育て支援 パワーアップセミナー

内容：パネルディスカッション＋対談＋ワークショップ（現地見学・グループワーク）

会場：日本女子会館，のぞわテットーひろば，下馬南地区会館

期日：11月6日(土)・7日(日)

対象：子育て支援活動者・活動希望者、子育て支援関連部署の行政担当者 21名

協力：野沢3丁目遊び場づくりの会、NPO法人日本冒険遊び場づくり協会

NPO法人ハンズオン！埼玉

○報告書の作成・配布

作成：A4判44ページ 2,000部作成

配布：子育て支援関係の行政・機関、団体・グループ等 1,700部配布

エ. 女性のライフプランニング支援プログラム開発研究

文部科学省委託事業(女性のライフプランニング支援総合推進事業)

女性のキャリア形成支援の一環として、財団でこれまで実施してきたセミナーの評価も踏まえ、ライフステージごとのライフ&キャリアデザインを支援するプログラム開発を行う。プログラム開発に向けて、3つの対象〔A：育児期の女性 B：非正規雇用など不安定な働き方をしている女性 C：若年女性(大学生)〕を設定し、実験プログラムを実施した。

○連絡協議会(4機関)：開催4回

5月7日(木) 6月16日(火) 9月2日(水) 1月18日(月)

*本財団を事務局とする4機関(本財団，十文字学園女子大学，埼玉県(埼玉県男女共同参画推進センター)，港区(港区子ども家庭支援センター)の連携で実施。

○プログラム開発研究委員会(委員7名)：開催4回

5月12日(火) 6月16日(火) 7月14日(火) 1月18日(月)

○実験プログラムの実施：4カ所

Aプログラム 「育児中の女性のためのキャリア支援セミナー」

会場：港区立子ども家庭支援センター

期日：9月10日(火)・17日(火)・29日(木)・10月6日(火)

対象：主として子育て中の女性 参加者25人

*事後交流会 平成22年3月5日(金) 参加者5人

Bプログラム 「仕切り直し・巻き返しのライフプランニング支援セミナー」

会場：埼玉県男女共同参画推進センター

期日：10月3日・10日・17日・24日(全土曜日)

対象：非正規雇用など不安定な働き方をしている女性(主に20~30代 参加者33人)

Cプログラム-I 「女子大生のためのキャリアしゃべり場」

会場：聖心女子大学

期日：12月1日(水)

対象：主に大学2年生 参加者32人

Cプログラム-II 「女子学生のためのキャリアしゃべり場」

会場：埼玉県男女共同参画推進センター

期日：12月19日(土)

対象：主に大学2～3年生 参加者 28人

(3) 出版物の刊行等情報の提供

ア. 月刊「We learn」

①月刊「We learn」の発行

総発行部数 16,500部 販売部数 6,655部 事業配布 7,744部

②「ウィラーン」レポーター 委嘱7人

イ. パネル等普及啓発資料の作成・普及

○パネルの貸出等 貸出数 15件 パネル一式複製依頼 1件

○他機関事業への展示参加

国立女性教育会館主催：男女共同参画のための研究と実践の交流推進フォーラム

「イラストで考える女性のキャリア形成」

8月27日～29日

東京ウィメンズプラザ主催：東京ウィメンズプラザフォーラム 10月2日～3日

ウ. 資料の整備・情報公開

○ホームページの充実

男女共同参画・生涯学習・次世代育成に関する用語解説の更新

○財団関係資料及び資料室の保管図書・資料のデータ化など

「女性教養」(No.99～No.190まで) PDF化、

(4) 関係諸団体との連絡提携

ア. 全国女性会館協議会：理事会出席（理事長）、全国大会出席（理事長、学習事業課長）

イ. 国際婦人年連絡会：総会、全体会、常任委員会出席（学習事業課長）

ウ. 社会教育団体振興協議会：総会、幹事会ほか「社会教育関係者の集い」「文部科学省と語る会」出席（常務理事）

2. 日本女子会館の維持経営

(1) 事業収入の安定化

女性の生涯学習等教育施設としてセミナー、情報提供など有効活用を図るとともに、在館テナントに対し、より快適で安全なオフィス環境を提供するため、より効率的な運営を図る。

(2) 管理運営

ア. 会館の賃貸状況

空室率の上昇、賃貸価格の値下がり傾向等オフィスビル賃貸の市況は依然として厳しい中において、当会館は満室状況を維持している。

平成21年度新たに契約した面積は以下のとおりである。

階数	坪	内容	相手先	契約時期
4階	30.83	契約	株RHコーポレーション	6月より入居
4階	14.70	契約	株保健教育センター	8月より契約
4階	1.41	解約	女性・生活協会	7月解約

イ. 会館設備の改修状況

工事完了日	工事内容	実施金額
21年6月27日	駐車場タイル補修工事	1,102,500円
21年8月24日	3階空調機修理代	735,000円
21年8月24日	非常灯改修工事	894,910円
22年3月31日	1階ロビーカーペット張替工事	1,407,000円

3. 役員会に関する事項

理事会

開催日	議題	審議結果
平成21年5月26日	(1)平成20年度事業報告及び収支決算書について	承認
	(2)平成21年度事業計画及び収支予算書の変更について	承認
平成22年3月15日	(1)平成22年度事業計画及び収支予算書について	承認
	(2)橋本常務理事辞任にともなう後任常務理事の互選	選出

評議員会

開催日	議題	審議結果
平成21年5月26日	(1)平成20年度事業報告及び収支決算書について	承認
	(2)平成21年度事業計画及び収支予算書の変更について	承認
平成22年3月15日	(1)平成22年度事業計画及び収支予算書について	承認
	(2)橋本常務理事辞任にともなう後任理事の選出	選出

4. 収支及び正味財産増減の状況並びに財産の状態の推移（過去5ヵ年）

単位：千円

事業年度	18年3月	19年3月	20年3月	21年3月	22年3月
前期繰越収支差額	2,051	3,724	7,612	6,972	13,202
当期収入合計	163,898	140,425	136,903	137,308	146,740
当期支出合計	162,225	136,537	137,543	131,078	147,761
当期収支差額	1,673	3,888	△640	6,230	△1,021
次期繰越収支差額	3,724	7,612	6,972	13,202	12,181
資産合計	816,854	797,058	777,268	768,913	772,467
負債合計	75,970	84,325	86,522	85,683	93,703
正味財産	740,884	712,733	690,746	683,230	678,764

5. 法人の課題

(1) 公益財団法人認定申請のための検討委員会

平成21年5月22日(第5回委員会)及び平成21年12月24日(第6回委員会)開催した。

○第5回委員会

定款原案を作成し理事会・評議員会の権限・機能及び評議員の選出方法等定款の主要条項について検討し5月26日の役員会に報告した。

○第6回委員会

平成21年10月1日内閣府第1回相談の指摘を踏まえ、定款の事業区分を見直し、公益財団法人の基本財産について検討した。

その結果基本財産は土地のみとし、建物は固定資産に集約する。

(2) 安定した財源の確保

本財団は、設立の趣旨に基づき、女性の生涯学習及び次世代育成の振興に寄与することにより男女共同参画社会の形成に資する公益目的実現のため、一貫して事業活動を実現してきた。平成21年度は、公益事業部門については、(独)福祉医療機構の子育て支援基金助成金(3年計画第2年次)及び文部科学省の「女性のライフプランニング支援プログラム開発研究」委託事業等外部資金による社会教育事業の充実を図った。収益部門についても、4月から実施したテナントの賃貸料値上げ改定が寄与し、収益の改善が実現した。

平成21年度は駐車場のタイル補修及び1階ロビーのタイルカーペットの張替等より快適で安全なオフィス環境の整備を行ってきたが、平成22年度も建物の設備改善、居住環境整備を行い、公益事業の発展や公益財団法人の認定に向け、安定した財源の確保に努める。